



安曇野から世界のダンサーに

7/5 バレエダンサー柳島さん 市長と懇談

6月にニューヨークで開かれたバレンティナ・コズロバ国際バレエコンクールでクラシックシニア男性部門で金賞を受賞した柳島皇瑤さん(19・三郷温出身)が7月5日、市役所に結果報告に訪れました。柳島さんは、三郷小1年から姉の影響でバレエを始め、現在はアメリカコロムビアクラシカルバレエ団でプロのダンサーとして活躍しています。柳島さんは「コンクールでは自分の踊りができた。みんなに憧れてもらえるバレエダンサーになりたい」と抱負を語りました。



安曇野の水辺を守る

7/23 重柳区中曾根川清掃

豊科地域の重柳区では7月23日、区内のビレッジ安曇野の前を流れる中曾根川の清掃を行いました。当日は雨の中、約25人が参加し、大きく伸びた草を抜いたり、川に捨てられたゴミを拾ったりしました。観光客などが湧水を求めて訪れる場所ですが、川には流れ着いたゴミが目立つため取り組んでいます。白坂泰区長は、「清掃を月1回程度実施し、今まで以上に力を入れて美しい環境をつくりたい。ゴミは捨てないようにしてほしい」と話しました。

夏の夜にソーレの掛け声響く

7/29 あづみ野祭り

豊科地域の夏の風物詩「あづみ野祭り」が7月29日、豊科駅前通りと国道147号成相交差点-新田交差点間を歩行者天国にして開かれました。

本年は、豊科地域の地区公民館や企業などを中心に44連約3,200人が参加し、各連の個性豊かな仮装や山車と共に、踊り手のソーレの掛け声が響き渡りました。

今回は、安曇節(豊科調)を地域づくりに取り入れている明科地域の上押野区の皆さんが初めて祭りに参加。オープニングでは、師匠の皆さんと一緒に安曇節を披露したほか、メインとなる「あづみ野ばやし踊り」にも参加しました。

あづみ野祭りコンテスト結果(一般、地区公民館)

【踊りの部】最優秀賞=㈱アズミ村田製作所、桜坂 優秀賞=上押野、真々部 敢闘賞=豊科金融団、吉野連 努力賞=ろうきん連、飯田連 団結賞=セイコーエプソン(株)豊科事業所、安曇野美容師組合、田沢連、成相 ユーモア賞=山雅後援会安曇野支部、こども病院・県職連、細萱公民館、たつみ原 アイデア賞=VAIO、安曇野市商工会、重柳、新屋分館 エネルギッシュで賞=安曇野市役所、安曇野市内郵便局、踏入、小瀬幅

【山車の部】あづみ野祭り大賞=㈱アズミ村田製作所 優秀賞=大口沢大和連 努力賞=吉野連



手作りカヌーで夏を満喫!

7/29 親子手作りカヌー教室

親子手作りカヌー教室(安曇野リバープレイヤーズクラブ主催)が7月29日、明科地域の自然体験交流センター「せせらぎ」で行われました。当日は、市内の親子14人が参加し、カヌー作りと試乗を楽しみました。

カヌー作りでは、講師が手掛けた設計図を基に、プラスチック製の段ボールで同じ形の船を2つ作り、角材などを使用してつなぎ合わせたカヌーを、親子で協力して完成させました。午後には、万水川と蓼川、欠の川に囲まれた三角島に移動し、自分たちで作ったカヌーの乗り心地を確かめました。

家族4人で参加した竹内彩音さん(穂高西小5年)は、「カヌーは作るのも乗るのも初めて。思った通りに進むのが難しいけどとても楽しい」と話してくれました。

中国の生徒 農家生活を体験

7/6 中国重慶第一外国語学校が農家生活体験

中国重慶第一外国語学校の生徒ら29人が7月6日と7日の両日、市内で中学生との交流や農家生活の体験をしました。一行は、豊科南中学校を訪れ、中国語講座への参加や折り紙などをして交流を深めたほか、市内7軒の農家に分かれて宿泊し、農作業体験や日本の生活文化に触れました。今回訪れた李希芷さんは「日本の人の温かさや日常生活に触れられたことが嬉しかった」と話し、心の交流を深められたことに感謝していました。



地域のが被害を減らす

7/9 防災講演会「地域の防災力を高める」

市では7月9日、「地域の防災力を高める」と題した防災講演会を堀金総合体育館で開催しました。当日は、大町市出身でNHK解説委員の山崎登さんが講師となり、地域防災力の重要性を説きました。山崎さんは、阪神大震災で救助された4人の内3人は地域の方が救助したという事例を挙げ「地元を知るのが防災の出発点」と説明しました。また風水害については「雨は段階を踏んで情報が出てくるので、それを対策に生かすことで被害が減らせる」とアドバイスしました。会場では、自主防災組織や消防団関係者など約210人が熱心に耳を傾けました。